

JP007 コムケ湖・シブノツナイ湖 (こむけこ・しぶのつな

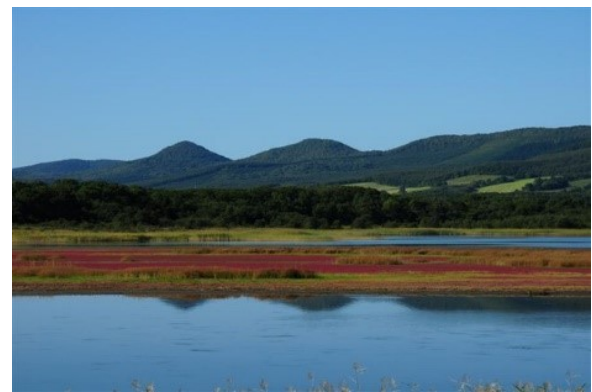
いこ)

北海道：紋別市、湧別町

位置	N 44° 15′ E 143° 31′
面積	1,516ha

環境構成【潟湖】

コムケ湖は3つの水域に別れており、一番大きな東よりの水域で人工水路により海と繋がっている。湖内には広大な干潟が出現し、シギ・チドリ類が採食に利用する。湖と海は砂州（海浜草原）で区切られている。湖岸は塩沼地特有のアッケシソウ群落が随所に見られる。周囲はヨシ原の湿原で囲まれており、湖畔林へと続く。その外側はほぼ農地となっている。流入河川は2本あるが水量は多くない。湖の水深は浅く、水草が豊富でありカモの絶好の採食場となっている。シブノツナイ湖の湖口には水門があり、時化（シケ）の時には海水が流入する。周りはヨシ原湿原であり、その外側は農地となっている。流入する河川は2本で水量はコムケ湖のそれより多い。冬期は全面結氷する。



写真：大館和広

選定理由

A4i	ヒドリガモ・オナガガモ・トウネン・チュウシャクシギ
-----	---------------------------

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

保全への脅威

- ・海岸侵食の進行による環境変化（海浜草原の減少）
- ・海面上昇による高波の越波、海岸侵食が深刻
- ・カメラマンによる夏鳥の繁殖妨害
- ・酪農排水の湖への流入による水質汚染
- ・ゴミの漂着
- ・湿原の乾燥化
- ・漁業活動

- ・アライグマの生息確認、海浜植生への帰化植物の侵入
- ・ヨシ原の減少
- ・高規格道路整備による道路拡張による自然環境の破壊

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
減っている：カモ類、シギ・チドリ類、感覚的には一部の夏鳥も
増えている：オオハクチョウ、ヒシクイ ハジロカイツブリ
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化
変化がある：水面下の植生が変化しているのかもしれない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境
悪い（40～70%が最適の状態）
- ・ IBA エリア保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ 環境管理：実施者（コムケの会（紋別市委託）
内容：ゴミ回収、ビジター指導
- ・ 外来種のコントロール：実施者（もんべつかいはつくらぶ、コムケの会）
内容：オオハンゴンソウ除去、マツヨイグサ類除去、ほか
- ・ 環境教育活動：
内容：観察会を通じた啓もう（もんべつかいはつくらぶ、コムケの会）
探鳥会（日本野鳥の会オホーツク支部）
- ・ 保全のための人材育成活動：実施者（もんべつかいはつくらぶ、コムケの会）
内容：ガイドセミナー開催
- ・ モニタリング調査：実施者（もんべつかいはつくらぶ）
内容：各種調査、モニタリングサイト 1000（シギチドリ調査、ガンカモ調査、陸生鳥類調査）ワシ調査、ハクチョウ調査
- ・ 経済活動を通じた保全（エコツーリズム等）：実施者（コムケの会）
内容：ツアーガイド

IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

- ・ もんべつかいはつくらぶ
- ・ コムケの会

見られる鳥

2009 年末までに 270 種が記録されている。渡り鳥が 90% を占める。近年の鳥類相の変化として、ツバメの繁殖が見られるようになった。

2008－2009 年オオハクチョウの渡来数が急激に増加し、3000 羽を超えた。

2015 年にタンチョウが繁殖。

留鳥	マガモ、オジロワシ、アカゲラ、オオアカゲラ、コアカゲラ、コゲラ、エナガ、ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、スズメ
夏鳥	カイツブリ、アオサギ、カルガモ、チュウヒ、クイナ、コチドリ、オオジシギ、カッコウ、ツメナガセキレイ、ノゴマ、ノビタキ、シマセンニュウ、マキノセンニュウ、アオジ、シマアオジ、ニュウナイスズメ、コムクドリ、ショウドウツバメ
冬鳥	ヒメウ、コオリガモ、ホオジロガモ、カワアイサ、オオワシ、オオモズ、シロカモメ、ユキホオジロ、ウソ
旅鳥	カワウ、コハクチョウ、シマアジ、ハシビロガモ、メダイチドリ、ダイゼン、ムナグロ、トウネン、ハマシギ、オバシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ホウロクシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、アカエリヒレアシシギ、セグロカモメ、ユリカモメ、カモメ、アマツバメ、タヒバリ、ルリビタキ、カシラダカ
迷鳥	クロツラヘラサギ、ヘラサギ、コウノトリ、ダイサギ、チュウサギ、アオサギ、アマサギ、タンチョウ、カナダヅル、

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会オホーツク支部



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, Increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCo, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community